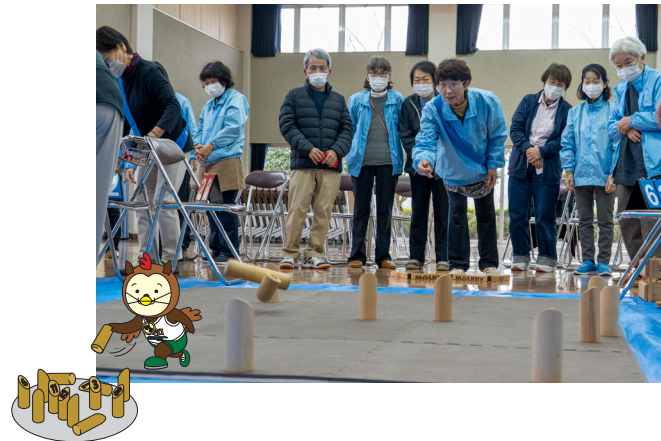


国スポに向け機運を高める 民生委員・児童委員モルック体験

11月12日、町自然休養村管理センターで、町民生委員児童委員協議会（馬原利幸会長）によるモルック体験が行われました。

初めて体験する人が多く、ピン（スキットル）めがけてモルック棒を投げるたびに大きな歓声や悲鳴が上がっていました。

モルックは、年齢や性別の関係なく楽しめるゲームです。地域や職場でのレクリエーションに最適ですので、興味のある方は、教育委員会にご連絡ください。



景色と食を堪能 大平岳展望ウォークが開催

11月16日、大平村おこし協議会（甲斐康雄会長）主催の大平岳展望ウォークが行われました。

参加者（約40名）は、雲海に包まれ少し肌寒い中、大平集落センターをスタートしました。

歩くにつれて霧が晴れ、汗ばむほどの陽気の中、眼下に広がる景色を眺めながら、頂上までの約5kmの道のりを歩きました。頂上に着くと、用意された高千穂牛の焼肉やおにぎりなどの食事を堪能しました。



うるおいとやすらぎ生きがいのあるまちづくり 第33回町民のつどいを開催

11月8日、高千穂町武道館で、「第33回町民のつどい」が行われました。

式典では、園児のダンスやコーラスグループの合唱、ダンスや舞踊が披露され、「高千穂いちっちゃん」が活躍の発起人甲斐有香さんが活動発表をしました。

また、アニメ映画「もののけ姫」の主題歌を歌う米良美さんの講演会が行われ、生い立ちや病気の闘いなどが語られ、もののけ姫など数曲を歌唱しました。



諸聖人の日の前夜祭 ハロウィーンウォークin高千穂2025

11月3日、町国際交流事業実行委員会（古村ヴィクトリア会長）による「ハロウィーンウォークin高千穂」が行われました。

キャラクターなどに仮装した参加者らは、グループごとに分かれて町中央公民館をスタート。チェックポイントを巡りながらゴールの高千穂小学校の体育館を目指し歩きました。

ゴール後、プチハロウィーンパーティーが開かれ、ゲームやダンスなどを楽しみました。



にぎわい創出や交流拠点としての新空間 「SAITE MITAI」完成イベント

11月2日、がまだせ市場隣に整備をしていた「SITE MITAI（サイトみたい）」の完成イベントとして、「MUSIC SITE E MITAI（ミュージックサイトみたい）」が行われました。

イベントには、キッチンカーや雑貨などが出店。ステージでは、高千穂中学校吹奏楽部の演奏やダンス、福岡県出身の演歌歌手那珂川仁美さんによる歌謡ショーなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



火の取り扱いには十分な注意を 消防団による夜警出発式

11月9日、高千穂町消防団（馬原祥団長）が、秋の火災予防運動（毎年11月9日から15日まで）の1週間に合わせ、管理センター前で夜警出発式を行いました。

出発式には、団員、西臼杵広域消防本部などから約50名が参加。馬原団長が「これから火の取り扱いが増える時期。防火への啓発を行ってほしい」と訓示。式終了後は、消防車両が三田井中心部で防火パレードを行い、火の用心を呼びかけました。



世界への発信に感謝 ウルフギャング・パックさんが視察

11月4日、ウルフギャング・パックさんが、宮崎牛の生産現場の視察のため、佐藤孝輔さん（土呂久の牛舎を訪れました）。

パックさんは、アカデミー賞アフターパーティーの料理総責任者を務め、2018年から「宮崎牛」を使用。今回、JAMやざきと（株）ミヤチクが感謝の気持ちとして招き、生産現場や加工施設の視察などが行われました。

佐藤さんの愛情ある育て方や飼育環境に感動していました。



日本近代登山の父を偲ぶ 第38回宮崎ウエストン祭

11月3日、五ヶ所の三秀台で、「第38回宮崎ウエストン祭」が行われました。

式典では、ウエストン師の功績をたたえとともに山岳遭難者の追悼と山の安全を祈願しました。式典終了後は、五ヶ所野菜集出荷場で田原地区村おこし推進協議会吉水寿二会長主催の交流会が開催され、神事の後、神楽の奉納や合唱、踊りなどで会場は盛り上がりしました。

